

１）計画策定に係るアンケート調査（案）について

※意見なしに○をつけていただいている方で、自由記述欄でご記入いただいている方については、意見ありとしてカウントしています。
わかりづらい説明資料で申し訳ありません。

※質問の内容が類似するものについてはまとめています。

番号	ご意見	事務局回答
1	2枚のアンケートにおいてルビを振っているケースとないケースがあるのは何か意味がありますか？	現段階では調査票の内容が確定していないため、策定支援業務受託事業者との内容検討の過程でルビのある箇所と無い箇所が生じ、混在していますが、実際に障害当事者へ送付する調査票には漢字全てにルビを振る予定となっています。障害のない市民へ送付する調査票については、特に必要だと思われる箇所以外はルビは振らない予定です。
2	当事者向けの方には、聴覚障害の方も含まれているので、お問い合わせ先には、Mailアドレスも付記した方がよいのではないのでしょうか？	現在本課のメールアドレスについては、市民の方からのパブリックコメントの提出や事業者からの申請受付及び各種連絡を主な目的として外部へ公開しています。日常における制度等についての市民の方からのお問い合わせは、電話、FAX及び市ホームページのお問い合わせフォームをご活用いただくようお願いしています。課のメールアドレスに対しては、国及び都等から緊急性の高い通知等が送信されることもあり、メールアドレスをお問い合わせの窓口として広く公開した場合、それらの通知メール等が埋もれてしまうことも考えられます。そのような観点から、調査票における問い合わせ窓口の記載は電話及びFAXとさせていただきますことが現実的ではないかと考えます。
3	(1-3) -8- 一般の方はグループホームという言葉あまり耳にしないと思うので、簡単な説明があった方がよいと思いました。	欄外にグループホームの説明（主に障害者が日常生活の援助及び食事、入浴、排せつ等における介護を受けながら共同生活を送る住居）を追加します。
4	(1-3) -5-、-8-、(1-4) -8-、-9- 3つまで○印をつけるところがありましたが、もう少し、つけられると良いなと思ったところがありました。	アンケート調査には傾向調査の側面があり、複数回答式の設問における回答権を増やしすぎると、回答者が「主に」感じている内容の集計データとしてはぼやけてしまう恐れがあります。そのような観点から、既存の通り、3つまで丸をつけていただくこととしました。なお、3つに収まりきらない回答につきましては、調査票末尾の自由記述欄に記入していただくことを想定しています。

5	(1-3) 表紙「障害のない方向け」→事情により本人が記入できない場合-」はいらないかと思いますが、どうでしょう。	極端な話ですが、宛名の方が回答できないからと代わりに調査対象ではない18歳未満、65歳以上の方が「自分の意見」として回答してしまうと、厳密に言えば異常値としてみなさなければならないものとなってしまいます。もちろんこの文言を入れれば必ず防げるというものではありませんが、他事例でも入れておりますので、このままとさせていただきます。
6	(1-3) 問1、あなたの性別は～の3.その他はいらない？のかと思いますが。	本市の他の計画策定におけるアンケートにおいて同様の記載があり、整合性を持たせるため今回の調査票においても同様に記載しております。加えて、性自認の尊重についても求められていることから、従来の男女二者択一式に「その他」を加えることとしました。
7	アンケート（案）当事者向け問6-1の2,4のカッコ内は（マンション、アパート等）に統一した方が良いのではないかと思います。	項目2及び4のカッコ内を「マンション・アパート等」に修正しました。
8	アンケート（案）当事者向け問22、問23の選択肢の最後に「その他（ ）」として自由記述を入れた方が良いと思いました。	問22に項目を追加しました。問23については、調査票末尾の自由記述欄に記載していただくことを想定しております。
9	資料1-2では65歳までを対象としているのに対し、資料1-3では64歳までとなっているのが、このままでよいのか確認してください。サンプリングの時点から回答の発送までに65歳の誕生日を迎える方がいらっしゃるためにこのような形になっているのであれば、このままでもよいような気がします	資料1-2の記載が誤っており、「65歳未満（64歳以下）」が正しい対象年齢層となります。
10	資料1-2の2にある市民等の「等」にどういう方を想定されているのかご教示いただけるとありがたいです。	資料1-2の記載が誤っており、「障害の無い市民」が正しい表記となります。
11	当事者向けは最後だけでなく、自由記述欄を増やした方がよいのでは…集計が大変なことは予想されるが、ニーズはわかると思う。	各設問の「その他」の項目が自由記述欄の役割を担うと認識しています。書ききれないこと、当てはまる設問が無い課題・ニーズを調査票末尾の自由記述欄に記載していただくを想定しております。
12	「日常生活について」「地域での生活」「災害の備えについて」「雇用・就労について」「障害児福祉について」では、それぞれで不安なこと、足りないと感じていることを記入できるようにしたほうが良いのでは…	スペースの都合上、調査票末尾の自由記述欄に記入していただくことを想定しています。

13	資料1-3 P4問15・身内や業務として関わっている方は、どのように回答するか迷うのではないか	一般的な状況の中での対応としてご理解いただけるものと考えております。
14	資料1-3 P5 障害者虐待防止法、障害者差別解消法 ・解説があると啓発につながる	コラムとして挿入しました。
15	資料1-3 P8重点的に取り組むべき障害福祉施策 ・住宅探しの支援、権利擁護・財産管理の支援、災害時の支援が選択肢にあるとよい。	一部項目を追加しました。
16	資料1-4 P3問5-1 ・肢体不自由も内部障害同様の内訳があるとよい。	項目1を「肢体不自由（上肢機能障害・下肢機能障害・体幹機能障害）」に修正しました。
17	資料1-4 P4医療的な支援 ・中心静脈栄養、透析が選択肢にあるとよい。	項目を追加しました。
18	資料1-4 P4問18 ・相談できる人がいない（限られている）が選択肢にあるとよい。	項目を追加しました。
19	資料1-4 P6問13 障害者虐待防止法、障害者差別解消法 ・解説があると啓発につながる	コラムとして挿入しました。
20	資料1-4 P9 社会活動、余暇活動に参加する条件 ・コミュニケーション支援（手話、要点筆記等）が選択肢にあるとよい。	項目を追加しました。
21	P10 H26調査 ・H26調査との比較を考えると難しいかもしれないが、以下の選択肢があるとよい。 ・周りの人に援助を求めることができない→手段がない場合、助けてくれる人がいない場合があるので、選択肢を分けてもよい。 ・医療機器が作動するか、自宅避難時に水や食料が入手できるか、避難所の設備や避難所で必要な支援が受けられるか	既存の項目で網羅できると判断し、追加は行いませんでした。
22	P12 問21 ・区分の項目説明がないと（内容がわからないと）、2は選択できない方がいる。	最終ページに項目説明を追加しました。
23	P13 問22 ・経済的負担が大きい、利用したい内容のサービスがない、事業所に要望を伝えづらい、何が利用できるかわからないが選択肢にあるとよい。	一部項目を追加しました。事業所に要望を伝えづらいは7に、何が利用できるかわからないは1に含まれていると考えております。。
24	P15 就労していくために必要な支援 ・病気や障害の特性に合った職業訓練が選択肢にあるとよい。	項目2に含まれる内容であると思われるため、既存のままとしました。

25	新規記述が増えていますが、何か参照されたものはありますか。	国から発出される障害福祉施策に係る指針に加え、社会情勢の変化や国、都の制度改正、課に寄せられる障害者からの相談より読み取れる市内の障害者を取り巻く環境等を総合的に勘案し、策定支援業務受託事業者からの助言等も踏まえたうえで設問案の作成を行っているところです。
26	昨年のアンケートでは情報がつかめない等の意見があったかと思いますが、集めたアンケートをどのように具体化していくか、また考えていきたいと思っています。	今回のアンケート調査によって得られた結果を、計画策定やその後の施策に活かしていきたいと考えております。地域自立支援協議会等の場を通して、より良い障害福祉施策の実現に向け、ご協力をお願いいたします。